



あなたの町に防災専門家がやってくる！



あなたの地域、団体に合ったコースをお選びください！

2019年度 東京防災学習セミナー

対象団体 都内(区部・多摩)の自主防災組織、町会、自治会、PTA等の地域コミュニティ

会場 申込団体が手配する会場(例：自治会館、集会所など)

対象人数 20名～最大100名まで

時間 90分間(10時～21時の間)(Jコースのみ1回あたり最大240分)

	申込期間	実施期間	
		A～コース	Jコース
上半期	2019年4月15日(月曜日) ～2019年5月31日(金曜日)	2019年7月15日(月曜日) ～2019年11月10日(日曜日)	2019年7月15日(月曜日) ～2020年3月15日(日曜日)
下半期	2019年7月1日(月曜日) ～2019年9月27日(金曜日)	2019年11月11日(月曜日)～2020年3月15日(日曜日)	

※募集団体数：A～コース280団体、Jコース20団体

東京防災学習セミナー

とは

きたる大災害への備えには、一人ひとりが自らを守り、
ご近所同士で助け合いながら
「自らの町は自らで守る」ことが大切です。

東京防災学習セミナーでは、あなたの町に防災専門家が訪れ、
防災に役立つ講義やグループワークを行います。

テキスト、機材、備品などの準備は必要ありません。

ご希望に応じてコースをお選びいただき、
ご準備いただいた場所でお気軽に開催してみませんか!?



「東京防災」を学ぶ

「東京防災」とマイ・タイムライン(風水害発生時の)

※A～Iコース90分間のうち15分程度行います

首都直下地震

Aコース 首都直下地震への一人ひとりの備え

地震災害に対する一人ひとりの備えを理解しましょう
(被害想定、家具転倒・落下防止対策、在宅避難、日常備蓄、避難
所生活のイメージなど)

Bコース 首都直下地震への地域の備え

災害に地域で取り組む大切さや方法、具体的な取り組事例
を知りましょう(地域で助け合う必要性、平時・発災時の取組、
地域が抱える担い手不足・活動マンネリ化の解決方法など)

風水害

Gコース 風水害への備え

東京で起こりうる風水害への対策を基礎から学びましょう
(風水害の種類(洪水害、土砂災害、高潮等)、気象情報の取り方と
種類、避難行動など)

マンション防災

Cコース マンション防災のきほん

マンションにお住まいの方がまず行うべき備えとは
(マンションの被害特性、家具転倒・落下防止対策、在宅避難、日
常備蓄、ゴミ・トイレ対策など)

Dコース みんなで進めるマンション防災

マンションにお住まいの方々と協力しながら備える大切さと
方法を考えましょう(初動対応(初期消火)、安否確認、備蓄、要
配慮者の視点、マニュアル例など)

木造住宅密集地域

Hコース 木造住宅密集地域の備え

木密地域で備えるべき災害と有効な対策を学びましょう
(出火特性、初期消火、ハザードマップ、資機材準備、訓練事例など)

地域防災コンサルティング

新設!

Jコース

今抱えている団体の課題、お悩みやこれから取り組んでみたい活動などをお聞きした上で、
防災専門家を最大2回派遣して解決に向けたコンサルティングを行います!

お申込方法

お申込

折り込みの「2019年度東京防災学習セミナー申込書」をメール又はFAXでご送付ください
(ご希望のコース・日時を必ずご記入ください)

お申し込み先 東京防災学習セミナー事務局 (株式会社イオタ・東京都受託業者)

FAX 03-6747-0861 E-MAIL tokyo-bousai@iota-lab.com

(お申し込み後、3営業日(土日祝日を除く)以内に受付確認を返信いたします)
(返信がない場合、お手数ですが事務局までお電話(TEL: 03-5542-0232)にてお問い合わせください)
(お申込み多数の場合、A~Iコースは抽選、Jコースは申込内容等を参考に決定しますので予めご了承ください)
(ご希望の日時・テーマは抽選結果に一切関係ございません)

約3週間

お申込後

- ・申込締切り後、3週間を目途に実施決定通知を団体ご担当者様宛にご送付いたします
- ・事務局より実施に向けていくつか確認のご連絡(メール又はTEL)をさせていただきます(講義内容などについてもお気軽にご相談ください)

当日

- ・必要に応じて機材・会場をセッティングいたします
- ・事務局より受付・司会進行いたします
- ・防災専門家がコースに応じて講義などを行います
- ・アンケートをご記入いただき、終了です
- ・当日は記録として写真撮影を行うことがありますので予めご了承ください



当日は、ぜひ「東京防災」をお持ちください!

避難行動をあらかじめ決めたもの)の概要や活用方法をご紹介します

避難生活

Eコース 避難所生活・運営のヒント

発災後の生活をイメージしながら備えましょう
(避難所生活の実状(トイレ、プライバシー、要配慮者の視点、ペット対策)、資機材準備など)

Fコース 避難所運営の進め方

スムーズな避難所開設・運営を目指しましょう!
(開設・運営手順、班分け、レイアウト、要配慮者の視点など)

要配慮者支援

Iコース 地域で取り組む要配慮者対策

様々な配慮が必要な方々を地域で支えましょう!
(安否確認、避難行動要支援者名簿活用方法、避難所生活、在宅避難者・専門団体との連携など)

= グループワーク

実施内容一覧

コース	形式	内容
A C E G H	講義	個人・ご家庭での備えや地域でできる基礎的な防災対策などを、様々な活動事例とともにレクチャーします。防災対策のポイントをしっかりおさえましょう!
B D F I	講義 + グループワーク (意見交換)	地域で取り組む防災対策を中心に、先進的な事例紹介やグループワークから、実践的な知識や気づきを得ることができます!一緒に手を動かしながら考えましょう!
J	・ご要望に応じて決定 ・防災専門家 最大2回派遣	講義形式だけでなく、防災活動・訓練方法のアドバイスを行います!

※本コースは2018年度自主防災組織活動支援事業を拡充したものです
※派遣1回あたり最大240分(例:講演120分程度、訓練立ち会い240分程度など)
※「東京防災」を学ぶ」は実施しません



何を準備すれば良いですか？



会場の手配（使用料含む）のみお願いしております



「東京防災」を持っていません



事務局より当日貸し出し用の冊子をご用意いたします



A～Iコースのセミナー内容はアレンジできますか？



各コースでご用意するテキストに沿ったセミナーとなりますが、グループワークテーマの追加や時間配分など可能な限り対応いたします。ぜひご相談ください！



Jコースではどのようなコンサルティングを受けることができますか？



ご希望のテーマ（例：女性視点を取り入れた活動、子育て世代向けの防災など）に応じた講演会、防災訓練（イベント）の立ち合い、防災マニュアル作成方法のアドバイスなどです
※防災訓練等の企画・運営、科学的調査などはお受けすることができません

過去の受講者の



＜ 実際に発災した時の漠然とした不安があったが、今回のセミナーで様々なケースと対策を知ることができ、心構えができた。



＜ 被災地支援経験が豊富な講師のお話には説得力があり、防災活動に取り組むモチベーションが上がった。また、グループワークは初めてだったが、意外と面白く新たな気づきがあった。



＜ 漠然と防災活動に取り組んでいたが、活動を進める上でのポイントを整理することができ、今後の活動イメージを持つことができた。



＜ 防災専門家から希望するタイミングで複数回のアドバイスを受けることができ、目標としていた活動を実現することができた。

